

# Les Ressources du mois

## - Mars 2010 -



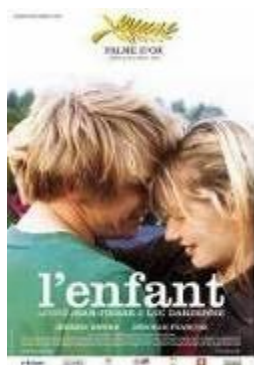
Alliance Française de Sapporo  
札幌アリアンス・フランセーズ

「フランコフォニーの日」40周年を記念して、今月はフランス語圏の傑作をご紹介します。

### Le film coup de cœur

#### L'enfant, Jean-Pierre et Luc Dardenne, 2004.

『ある子供』 ジャン=ピエール&リュック・ダルデンヌ監督作品



かつて重工業で栄えたベルギーの町セラン。このさびれ荒れ果てた町で、ブリュノという若者が盗みで生計を立てていた。同棲相手のソニアに子どもができるのだが、生後9日目の息子を見せられたブリュノは、金になると考え、ソニアが知らぬ間に、その子を売り飛ばしてしまうのだが…。  
2005年カンヌ映画祭で、パルムドールに輝いたダルデンヌ兄弟（ベルギー）の傑作。ぜひご覧ください。

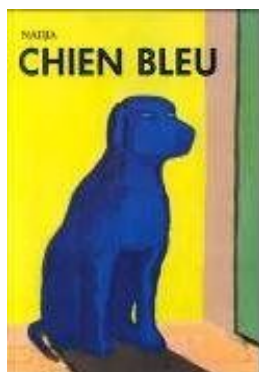
### A écouter à tout prix !



#### D'ici et d'ailleurs, Soha, 2008.

落ち込んでいますか？ それなら、これしかありません…。そう、ソアのアルバムです。サルサ、ボサノバにレゲエ、様々なリズムのダンスミュージックが混在した1枚。あなたの空が灰色だったとしても、ソアがブルーに染めてくれるはず！ いい気分になれるように、ものは考えようなんて思いながら、気持ちよく音楽に浸ってみては…。

### Pour les petits (et les grands...)

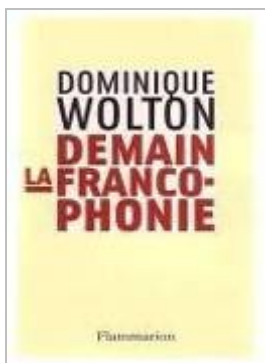


#### Chien bleu, Nadja, 1989.

『あおいヌ』 ナジャ著

シャルロットには、みんなとは全く異なる友達がいました。それは、青い毛で、宝石のような緑に輝く瞳を持った犬。毎晩のようにその犬はシャルロットに会いに来るのです。家で飼いたいというシャルロットに、お母さんは反対。そんなある日、シャルロットは森で迷子になり…

## A découvrir

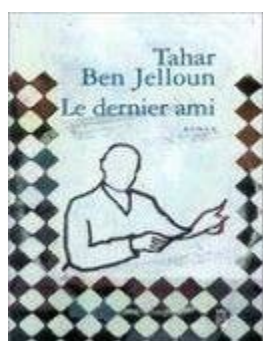


### Demain la francophonie, Dominique Wolton, 2006.

『明日のフランコフォニー（仮題）』ドミニク・ウォルトン著

グローバル化が進む中、いかに文化の多様性を保つかということは、政治の主要課題となっています。開かれた世界の中、個人個人が良い形で社会参加するためには、それぞれの持つルーツをしっかりと持っていなければなりません。フランス語圏には、63の国と地域に7,11億人が暮らし、その他世界各国に、1,75億人のフランス語話者（**francophone**）がいるといわれており、平和な共生社会を作るために大きな役割を果たしています。文化・経済・民主主義・社会というものが別の形で相互作用しうる可能性は…

## Le roman du mois



### Le dernier ami, Tahar Ben Jelloun, 2004

『最後の友（仮題）』ターハル・ベン・ジェルーン著

友人であるアリとモハメッド。それぞれが持つ友情の思い出を語ります。しかし、個々に異なる思いが…。タンジェという町で生まれた友情が、高校・大学と深まり、そして二人は離れて…。

## En français facile



### Les trois mousquetaires, Alexandre Dumas, 1844

『三銃士』アレクサンドル・デュマ著

ダルタニャンはパリに出て出世するために、生まれ故郷を離れる。彼の夢は王の近衛銃士になること。しかし、彼はアトス、ポルトス、アラミスという三銃士とかけがえのない友となり、忘れられない数々の冒険に立ち向かうことになる。

## La presse française à l'Alliance



### Cuisine et Vins de France

マリー・クレールが出版するフランスの料理・ワイン雑誌。現在アリアンスでは、2010年2・3月の最新号を閲覧いただけます。

<内容>

デザート・料理：はちみつ特集、冬に温まれるレシピ、冬にぴったりのチーズ料理等

ワイン：シャサーヌ・モンラッシェ等